

# 敦賀市民間最終処分場環境保全対策協議会

## 浄化促進技術検討部会の進め方について

### —説明資料—

平成20年8月4日

福井県・敦賀市

# 1. 浄化促進技術検討部会(仮称)について

## ■ 専門部会設置の目的

- 浄化促進工事に関する技術的検討

設計、施工、評価を適切に進めるための具体的方法について協議

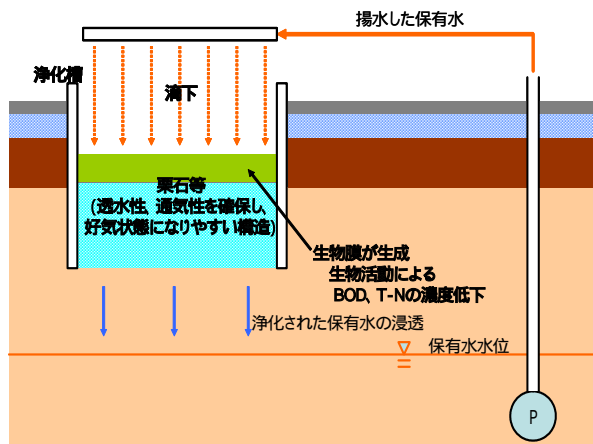
## ■ 専門部会メンバー

所 属	氏 名	専門分野
福井大学大学院工学研究科教授	荒井 克彦	地盤工学
国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究センター副センター長	井上 雄三	廃棄物処理
上智大学地球環境学研究科教授	中杉 修身	環境衛生
大阪大学名誉教授	藤田 正憲	水環境工学
福岡大学環境保全センター准教授	柳瀬 龍二	衛生工学

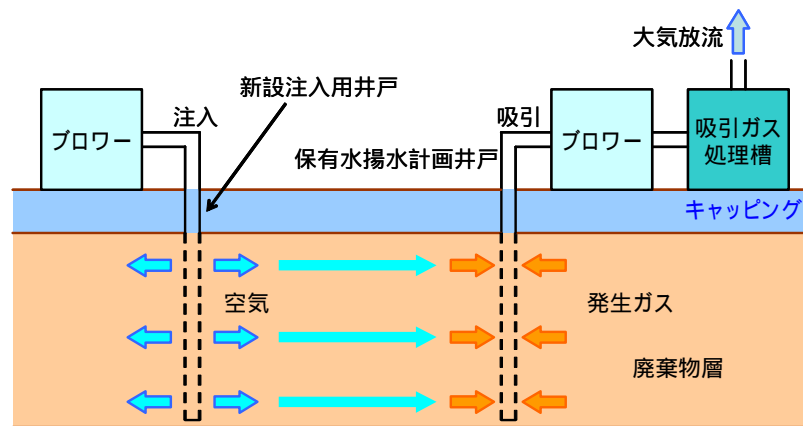


# 3. 浄化促進手法の例

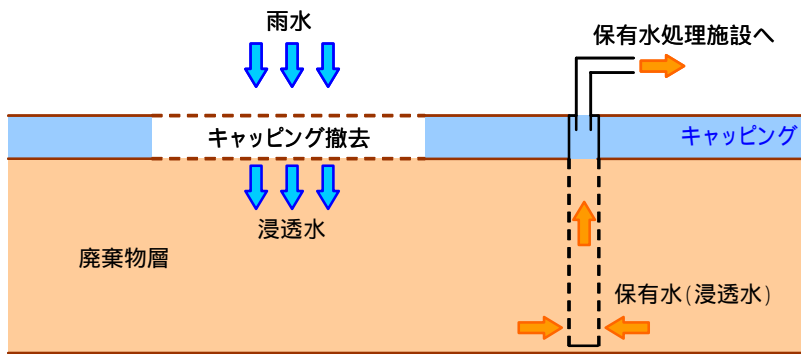
## 水循環



## 空気注入



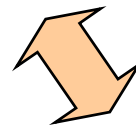
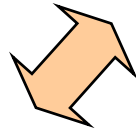
## 水注入



# 4. 浄化促進工事の課題

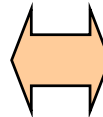
## 【設計】

- 技術的に確立されていない工事
  - ・ 適用事例が少なく、設計仕様の確定も困難
- 処分場の状況変化に合わせた対応
  - ・ 工事進捗に伴い得られる新たな知見
  - ・ 保有水水位低下による水質変化



## 【施工・運用】

- 安全管理
  - ・ 有害ガス、可燃性ガスのモニタリング
  - ・ ガス発生時の対応等
  - ・ メタン・悪臭の除去等
- 浄化設備の運用
  - ・ 水注入量の適正管理
  - ・ 空気注入量の適正管理



## 【評価】

- 効果確認方法
  - ・ 評価指標 (BOD、T-N、温度等)
  - ・ モニタリング方法
- 浄化促進手法の適用性判断
  - ・ 水の洗い出し効果の確認
  - ・ 注入空気の影響範囲の確認

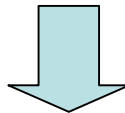
## 5. 検討部会の進め方について

### 工事の特殊性

技術的に確立されておらず、設計仕様の確定も困難であるが、反面、技術的工夫の余地が大きい

工事の進捗に伴い得られる知見を、その都度、工事に適切に反映する必要がある

設計・施工・管理(運用・評価)の緊密な連携が、浄化促進効果を最大化するのに不可欠



発注方式を含めて部会で協議  
(技術提案型方式の検討)